

【富山県中学校総合選手権大会に向けての新型コロナウイルス感染症予防対策重点事項】

①原則、無観客とする。

- 試合会場への入場は、登録された選手、引率者等及び大会関係者のみとする。
 - ・出場選手として登録されていない部員やマネージャーの入場については、利用する会場や施設の状況等を考慮し判断する。
 - ・観客（保護者を含む）を入れる場合は、利用施設のガイドライン、各競技専門部のガイドラインを考慮して検討し決定する。（各競技専門部のガイドラインに準ずる）
 - ・観客（保護者を含む）を入れる場合は、選手・大会役員と観客の動線を分け、交わらないようにする。
- ※状況によっては全てを無観客とすることもある。

②マスク着用の徹底

- 競技を行っていないものは、すべてマスクを着用する。
（監督、コーチ、控え選手、応援生徒等）
- ※気温が高くなる日は、熱中症に注意するように呼びかける。
※応援は拍手のみとし、大声を出しての声援はしないように呼びかける。

③ベンチの消毒の徹底

- 試合後及び、試合中にベンチが移動する場合にも消毒を徹底する。
※試合中のベンチ移動をなくすなど、専門部で工夫する。

④共有スペースの使い方、昼食時の注意点

- トイレや更衣室等の共有スペースでは、密集したり、会話をしたりしないことを随時呼びかける。顧問からも随時呼びかける。
- 定期的に巡回する。
- 昼食時は、密集せずに距離をとりながら食事することを徹底する。

⑤健康チェックシート及び、顧問用健康確認チェックシート

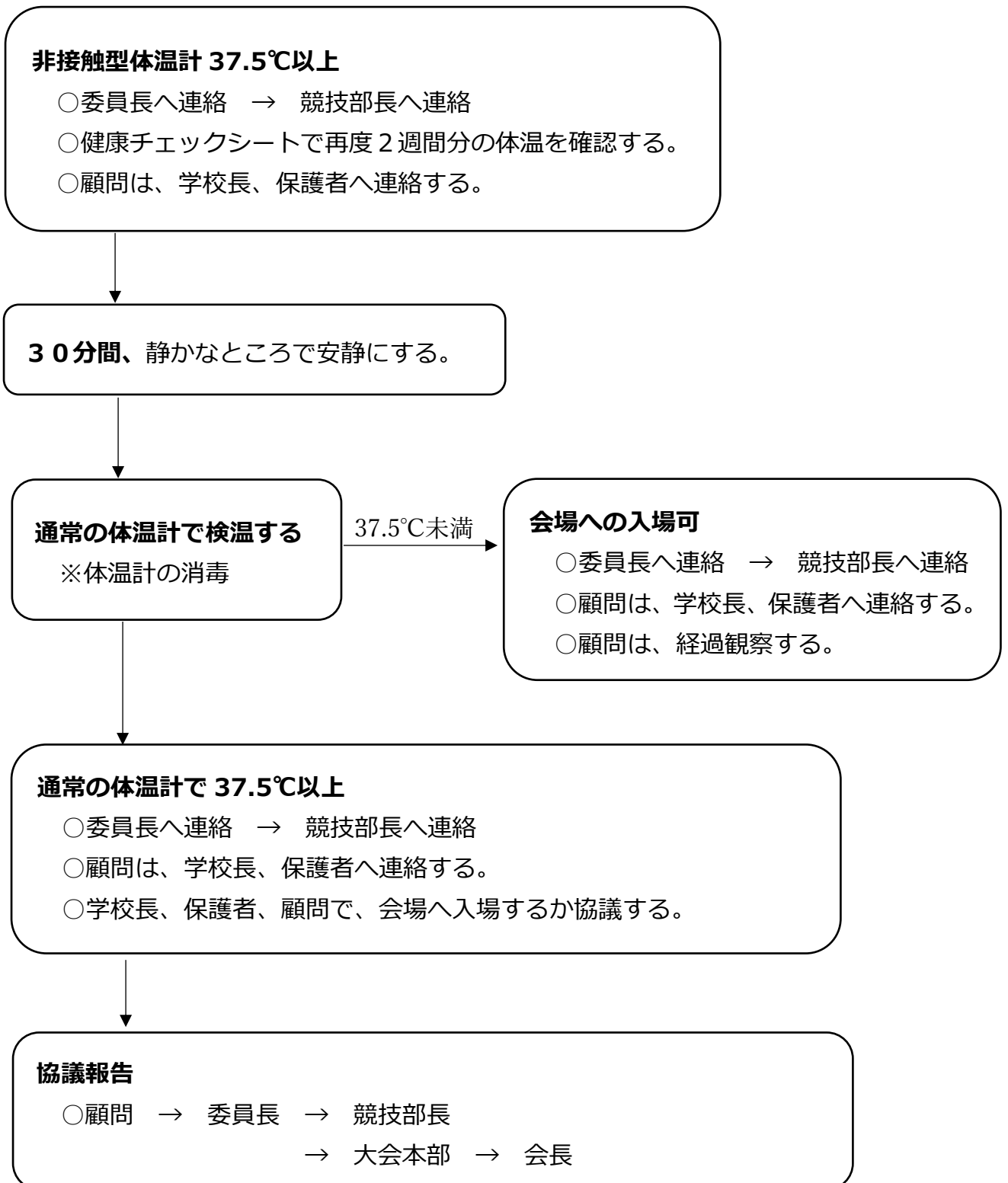
- 選手（応援生徒、生徒役員含む）、顧問・大会役員は大会前2週間分の検温を記録する。
- 2週間以内に発熱の記載があったり、チェックの不備があったりする場合は、顧問に事情を確認する。専門委員長は競技部長に報告する。
- 健康チェックシートは、保護者が毎日チェックする。
- 顧問は選手（応援生徒含む）、生徒役員の健康状態を毎日確認する。
（顧問用健康確認チェックシート使用）

⑥大会当日の検温

- 受付時に、大会参加者（観客含む）のすべてのものに対して非接触型温度計で検温する。（日なたではなるべく行わない）
- 【検温で37.5℃以上になったとき】
- ① 30分静かなところで安静にする。
 - ② 通常の体温計で検温する。
 - ③ 再度の検温でも、37.5℃以上ある場合は、学校長、保護者、顧問で、会場への入場を協議する。

⑥大会当日の検温 フロー図

【非接触型温度計の検温で 37.5℃以上になったとき】



※大会主催者は、あくまでも入場の自粛をお願いするもので、学校長、保護者、顧問で決定する。

※競技の特性や中央競技団体のガイドラインを考慮にする。